

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：マイクロニクス(株) 代表者職名・氏名：代表取締役社長 八木 健介
補助事業テーマ	<u>空気清浄装置の製作とコロナウイルス死滅の可視化検証</u>
事業実施期間	令和2年11月19日 ～ 令和3年2月28日
事業の目的	① 可視化検証：環境中に存在するコロナウイルスを死滅させる手段 ② 空機清浄装置の製作 ③ コンテナ式養蚕システムへの検証、予備実験
事業の実績 (成果)	<p>① 可視化検証</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>菌の播種作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>CO₂ インキュベーターで培養</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>納豆菌 ブドウ球菌</p> <p>照射なし 照射 16H 40H</p> </div> </div> <p>コロナウイルスは極めて微小で光学顕微鏡では見えない。ウイルスを菌に移植して、菌を死滅すればウイルスも死滅する代替法で試験した。菌は「納豆」（納豆菌＝枯草菌）や「ブドウ球菌」の安全な菌をシャーレの寒天培地に塗布し、一定時間、紫外線とオゾンに曝して「CO₂ インキュベータ」で培養後、菌＝ウイルスの死滅確認ができた。</p> <p>② 空機清浄装置の製作：3種類の試作から引き合いがあった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>○特許出願中（【出願番号】特願2020-159701）</p> <p>③ コンテナ式養蚕システムへの検証、予備実験</p> <p>蚕の飼育や洗浄・除菌の設備構成の検討ができた。除菌対象の蚕の餌、ポンプ、トレー、ボックス、餌台、搬送ベルト、ロボット、ハンドピース、コンテナの棚、コンテナ内の環境の洗浄方法に紫外線（UV-C）とオゾンが有効であることが判明した。</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・実効性のある空気洗浄装置の販売を進める。 ・市販する場合のPSE試験（対象非対象の確認）の手続きを進める。 ・コストダウンとデザイン重視と販売網の開拓、代理店の開拓 ・この事業を通して地域の関連企業との協力体制が構築できた ・コロナウイルスとの共存社会にも役立つ装置の開発とブラシアップ